

「調査の仕様について」

募集要領に記載されている以下の標本規模について説明を追加します。

1席（150万円）	： 4000～5000人
2席（80万円）	： 1500～1800人

日本世論調査協会は、この企画に賛同を頂いた調査機関に、特別価格で業務を発注します。標本規模は40問程度の質問を実施する場合の「目安」です。実際には当選した調査企画の標本計画によって変動する可能性があります。

たとえば、「二段階の調査を実施する」「複雑な標本配分を計画する」「特殊な層をスクリーニングしてうえで実施する」など、さまざまな研究計画が想定できます。

当選した調査企画案は、提案者と協会が協議して質問文と選択肢を確定したうえで、最終的に調査機関に確認して標本規模を算出します。発注金額は変更しません。

この金額は、日本世論調査協会の今回の企画に賛同を頂き、市場価格よりも低い特別価格となっています。

調査を発注する調査機関はインターネット調査で実績のある会社です。調査対象集団はこの調査機関が広告等のさまざまな方法によって、時間をかけて募集した人々です。全国に在住する数百万人のインターネット利用者ですが、調査に協力することに同意した、いわゆる「調査モニター」「アクセスパネル」等と呼ばれる人々です。調査対象者はこの中から選ばれ、調査への協力を依頼します。調査に回答することでポイント等の謝礼を得られる仕組みになっています。本人確認や回答状態チェックなどの一定の品質管理は調査機関で実施しています。

以上